



FILL THE WORLD WITH "HANDMADE GOODS"
“ハンドメイドグッズ”で世界を埋め尽くせ。

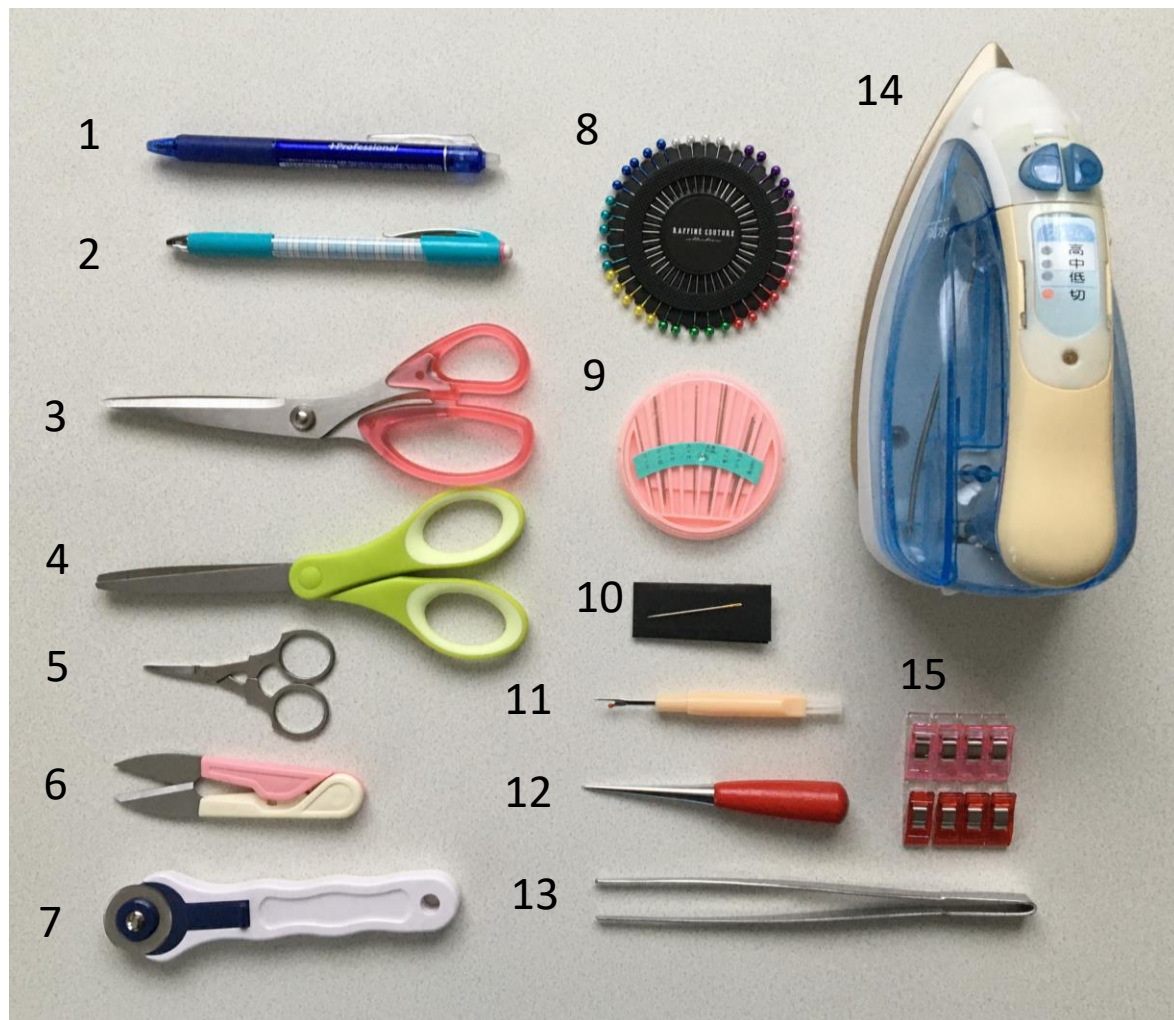
型紙桜子作成マニュアル

1. 使用する道具・材料一式
2. 前髪パーツと服生地の裏生地圧着加工工程
3. 型紙を生地に写す工程
4. 裁断工程
5. ミシン工程
6. 仕上げ工程

1. 使用する道具・材料一式

【1-1】道具一式

以下の道具があると制作がスムーズに進みます。



- 1.フリクションペン
- 2.チャコペンシル
- 3.裁縫用裁ちばさみ
- 4.工作用はさみ
- 5.小さいサイズのはさみ
- 6.糸切はさみ
- 7.ロータリーカッター
- 8.まちばり
- 9.縫い針
- 10.ししゅう針
- 11.リッパー
- 12.目打ち
- 13.ピンセット
- 14.アイロン
- 15.裁縫用クリップ
+ミシン

1. 使用する道具・材料一式

【1-2】 当社から送付する材料一式

中身が揃っているか確認してください。

1. 型紙2枚

2. 肌色生地(ミニクロス)1枚

3. ピンク生地1枚

4. ペレット用生地1枚

5. ペレット

6. 茶色生地(リトルボア)1枚

7. 茶色生地(ミニクロス)1枚

8. 白色生地(ミニクロス)1枚

9. 両面接着芯1枚

10. 練習用ハギレ(色・素材はランダム)

11. プラスチックアイ1対

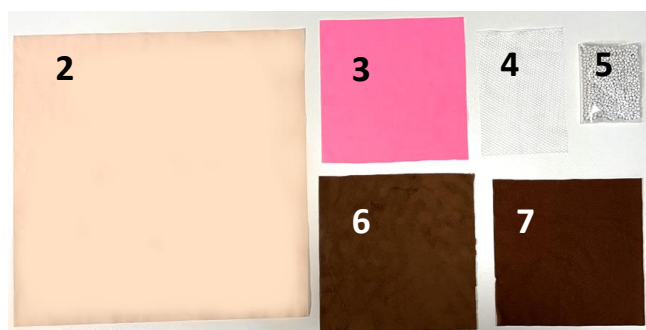
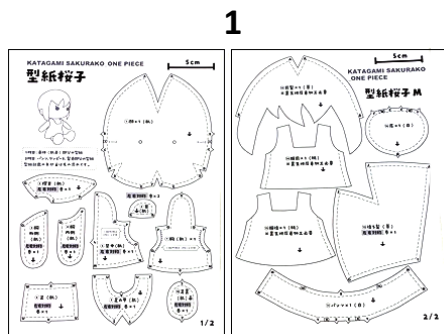
12. PP綿

13. 型紙桜子(ぬいぐるみ)

14. 型紙桜子作成マニュアル(このPDF)

15. 制作動画 (約1時間 材料到着から3か月間有効)

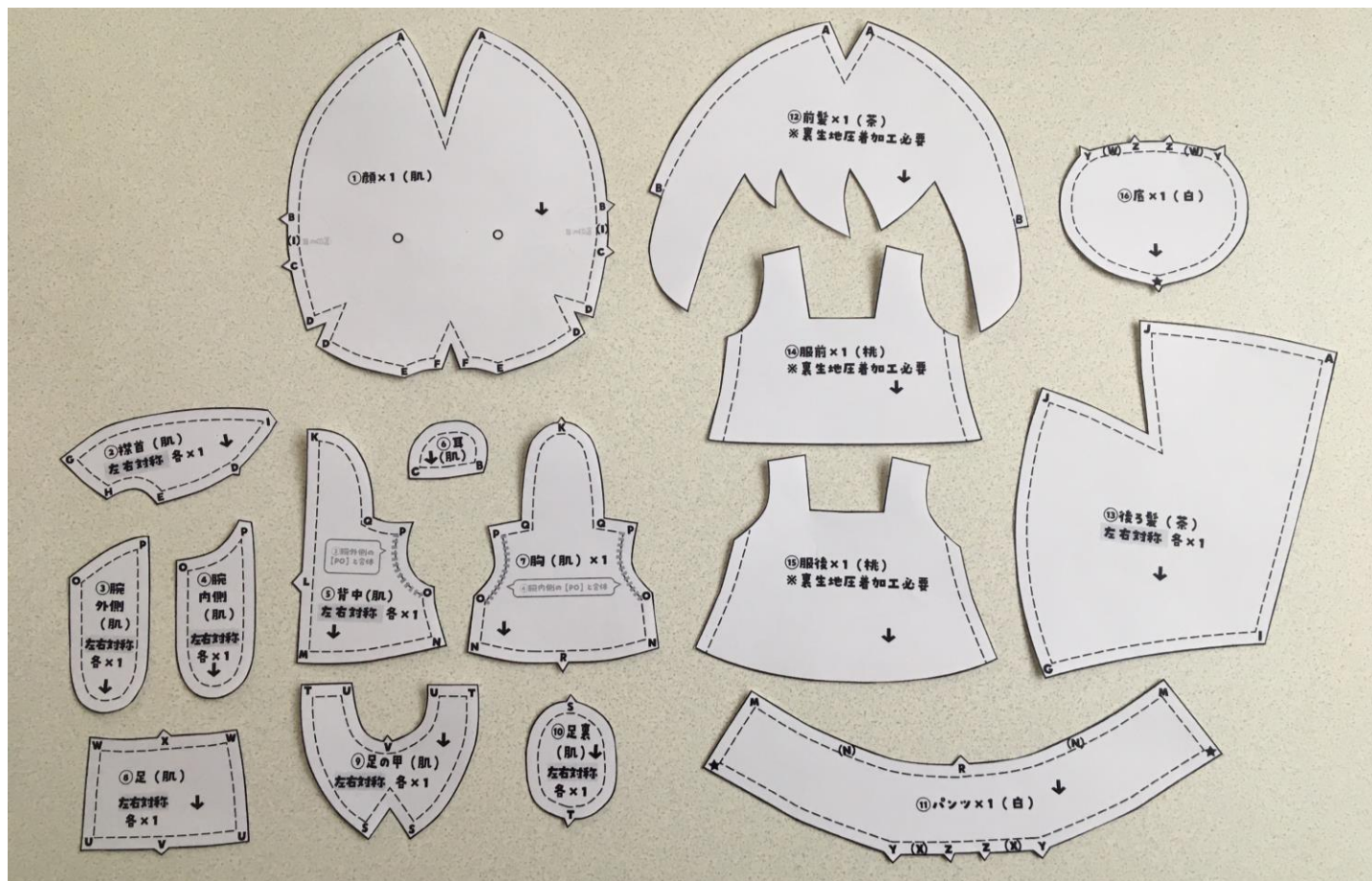
※制作動画はウェブ閲覧。アドレスとパスワードを送付します。



1. 使用する道具・材料一式

【1-3】型紙裁断

型紙をハサミで裁断してください。（動画では生地と型紙を一緒に裁ちばさみで裁断していますが、あまりお勧めしません。できるだけ紙用と生地用ではさみを使い分けてください。）



2. 前髪パーツと服生地との裏生地圧着加工工程

【2-1】圧着生地のサイズ確認

型紙12（前髪）と型紙14・15（前後の服）は厚みを出すために裁断前に2枚を圧着します。

型紙12（前髪）は茶色生地リトルボア（ソフトボア）と茶色生地ミニクロス（ナイレックス）を圧着します。
型紙14・15（前後の服）は桃色のミニクロス（ナイレックス）を圧着します。

型紙が取れる範囲を、生地と接着芯を重ね、その上に型紙を置いて確認し、生地を裁断します。



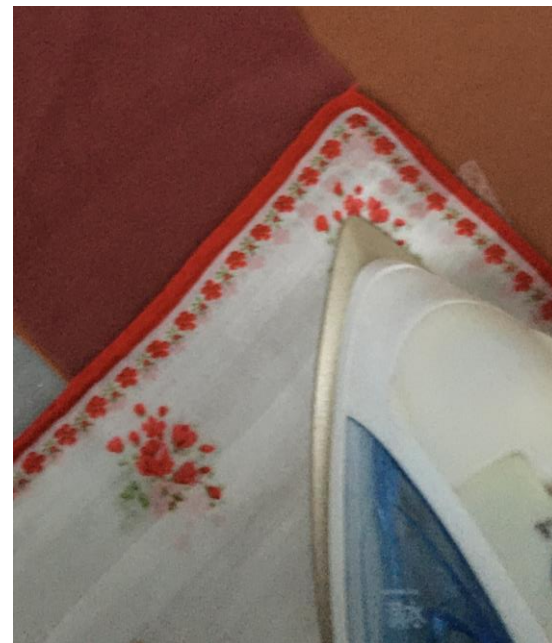
2. 前髪パーツと服生地との裏生地圧着加工工程

【2-2】型紙裁断

生地と生地の上に接着芯を挟み、あて布をあて、アイロンを120～150度でセットし、動かさずに10秒～20秒プレスしてください。

あて布は少し濡らした状態（軽く絞って十分湿った状態）のものを使用してください。

接着後は完全に冷めるまで動かさないようにしてください。

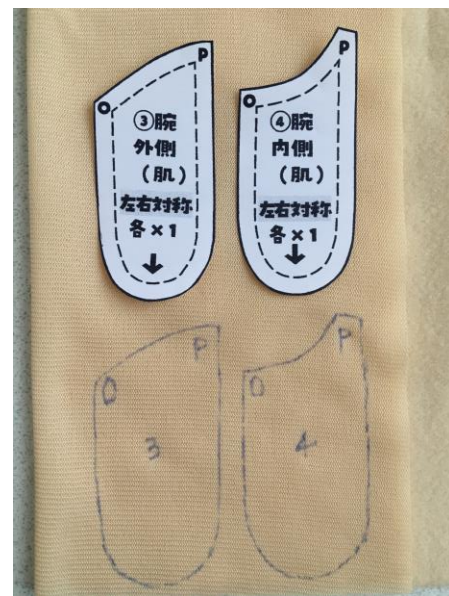
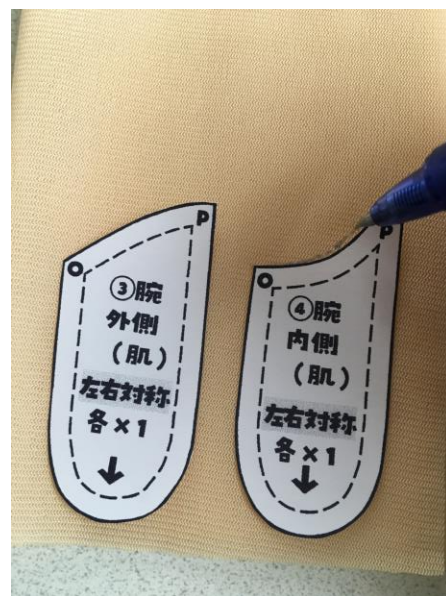
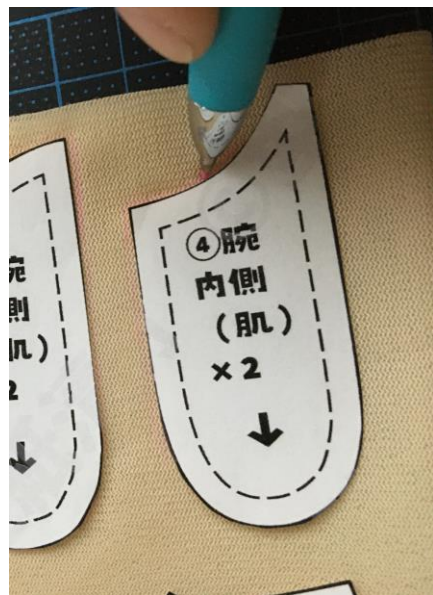


3. 型紙を生地に写す工程

【3-1】生地裁断

型紙を布の裏面に載せ、写しとります。

左右対称にするものは布を折り返して2枚一緒に裁断すると手間が省けます。



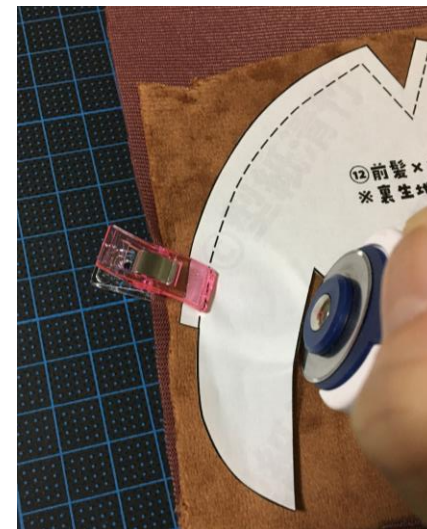
ミニクロス (ナイレックス) は弾力があるのでチャコペンシルではうつしにくいかもしれません。

フリクションペンがオススメです。
気になるはみだしなどもアイロンやドライヤーでインクが透明になります

3. 型紙を生地に写す工程

【3-2】生地裁断（髪の毛①）

前髪は型紙を置く面によって前髪の流れが逆になるので気を付けてください。
毛並みが下向きになっていれば正解です。



リトルボア（ソフトボア）側から切る場合は印をつけにくいので、クリップで型紙を留めて切ります。
後ろ髪と同様に毛の流れに注意します。
直線部分はロータリーカッターを使うと型紙を押さえながら切る事ができます。

3. 型紙を生地に写す工程

【3-3】生地裁断（髪の毛②）

前髪は型紙を置く面によって前髪の流れが逆になるので気を付けてください。
毛並みが下向きになっていれば正解です。



完成図

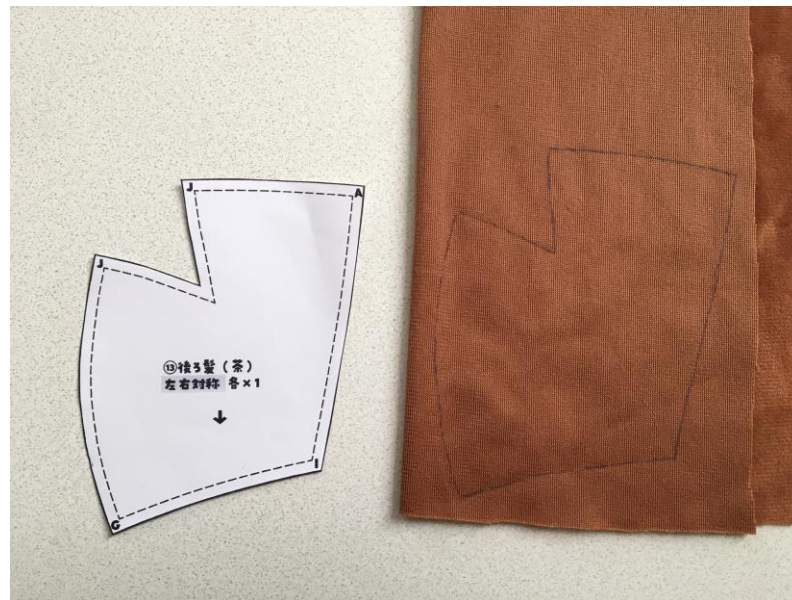
ミニクロス（ナイレックス）側には印を書くことができます
こちらは内側になる面なので型紙は裏向きに置きます

3. 型紙を生地に写す工程

【3-4】生地裁断（髪の毛③）

前髪は型紙各パーツの裁断

<1> リトルボア（ソフトボア ）茶色



ふたつ折りにして毛の流れに注意して型紙を置き印をつけます。

4. 裁断工程

【4-1】生地裁断①

前髪は型紙各パーツの裁断

<1> リトルボア（ソフトボア ）茶色



型紙をクリップで留めてロータリーカッターで切ってもいいです。
ハサミで切る場合はざっくりと切って2枚をクリップで留めてずれないように気を付けます。

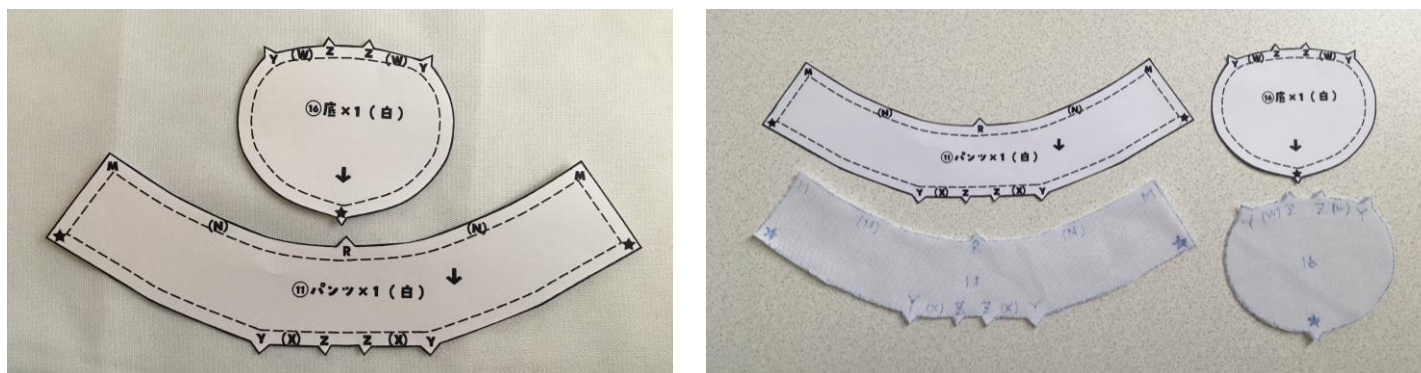
4. 裁断工程

【4-2】生地裁断②

ナイレックス ピンク



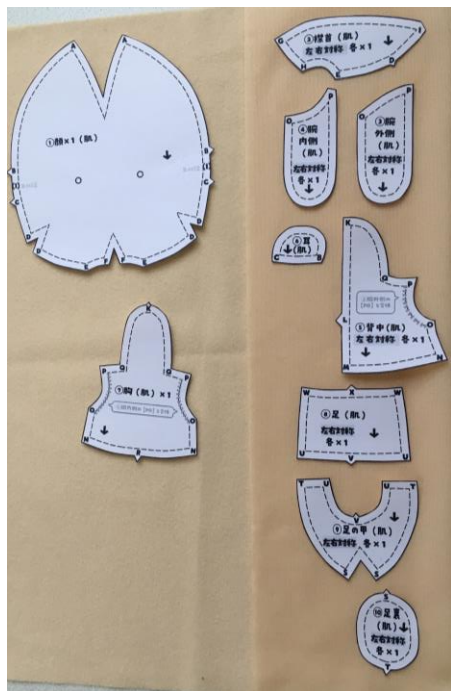
ナイレックス 白



4. 裁断工程

【4-3】生地裁断③

ナイレックス 肌色



左右対称に2枚必要なものは中表に折り返した部分に型紙を置きます。
型紙6 (耳) のみ2セット (4枚) 作ります。

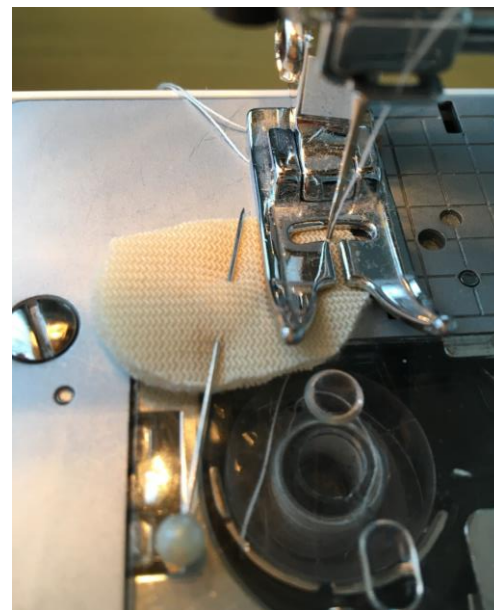
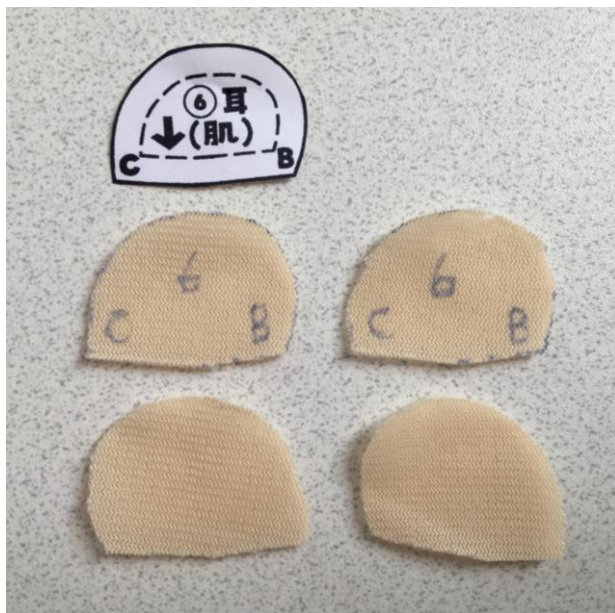
ざっくりと切ってクリップで2枚をしっかり留めてから切るとずれにくいです。

5. ミシン工程

【5-1】耳①

見やすいよう茶色の糸を使用していますが
実際は布の色に近い色の糸を使用します。

中表に合わせ、半円部分を縫います。直線部分は返し口として残しておきます。

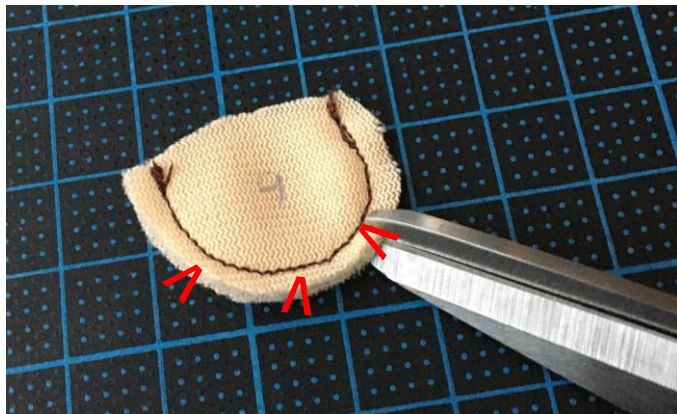


ミシンの進行方向に待ち針を止めると縫いやすいです。
小さい切片なのでミシンの目も小さめにするときれいに仕上がります。

5. ミシン工程

【5-1】 耳②

見やすいよう茶色の糸を使用していますが
実際は布の色に近い色の糸を使用します。



返したときに形がきれいにできるよう縫いしろに数か所切り込みを入れ返し口から返します。糸を
きらないように気をつけます。印が気になる場合は消しておきます。

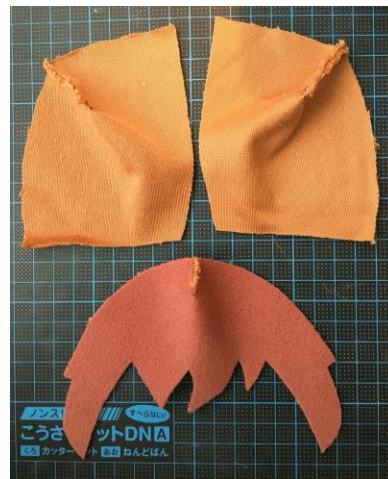
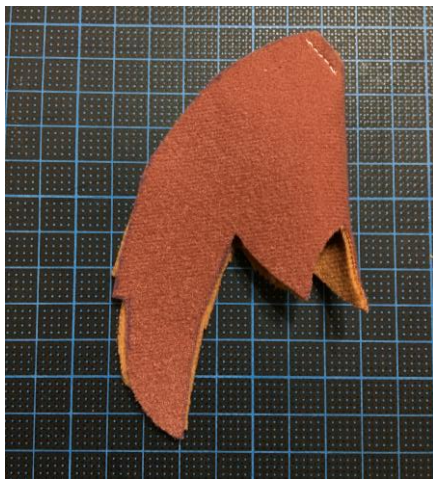
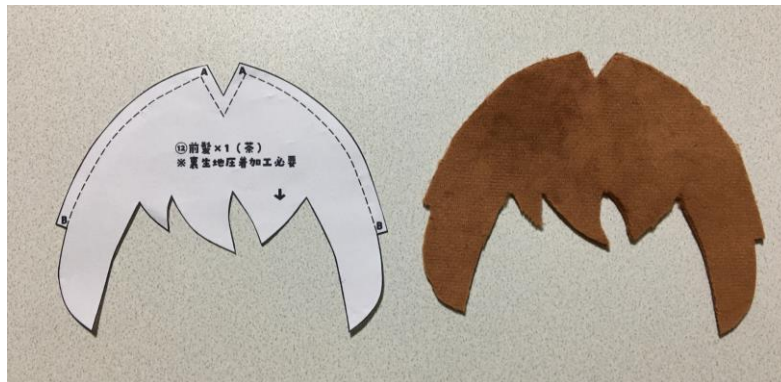
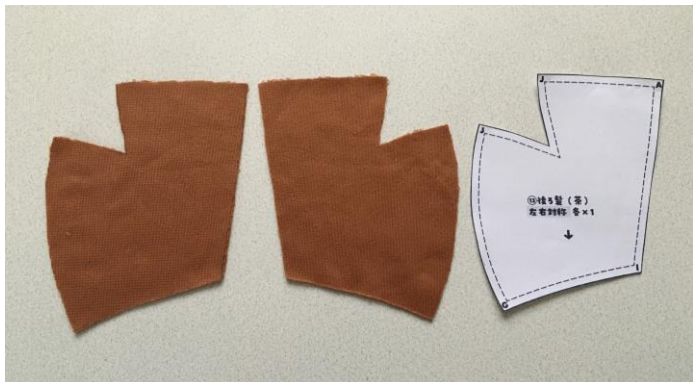


小さくてミシンで縫いにくい場合は手縫い
(半返し縫い) でも良いと思います。

5. ミシン工程

【5-2】 後ろ髪、前髪①

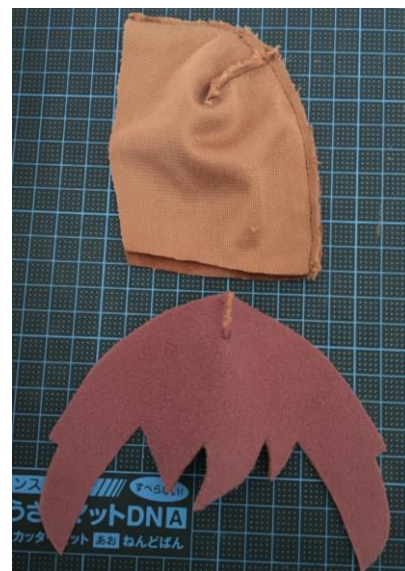
後ろ髪のダーツ（JとJ）、前髪のダーツ（AとA）を中表に合わせて縫います。



5. ミシン工程

【5-3】 後ろ髪、前髪②

後ろ髪を中表に合わせて曲線部分（A～J～G）を縫い合わせます。



5. ミシン工程

【5-4】 後ろ髪、襟首



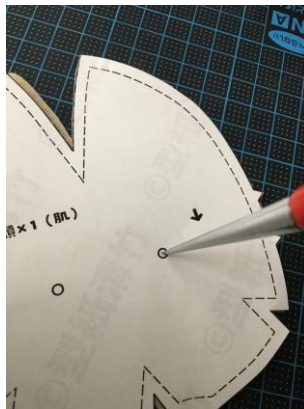
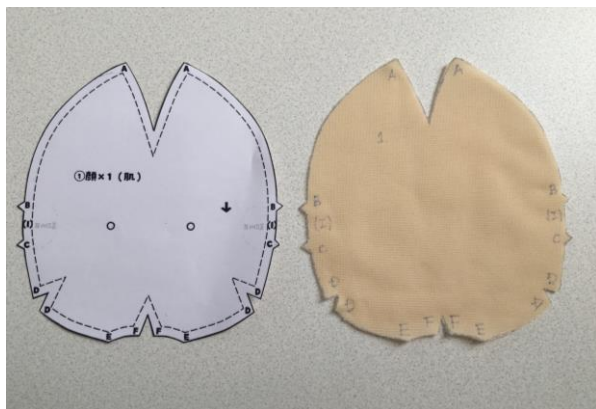
襟首を中表に合わせて中心になる部分（G～H）を縫い合わせます。



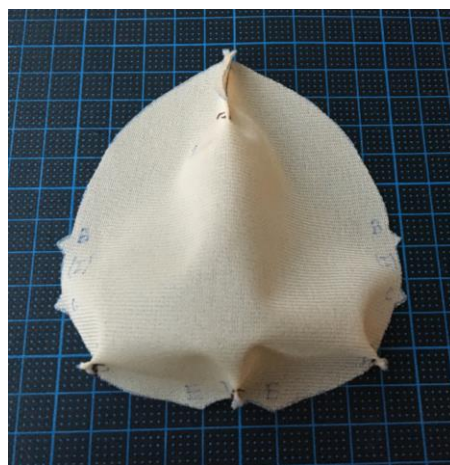
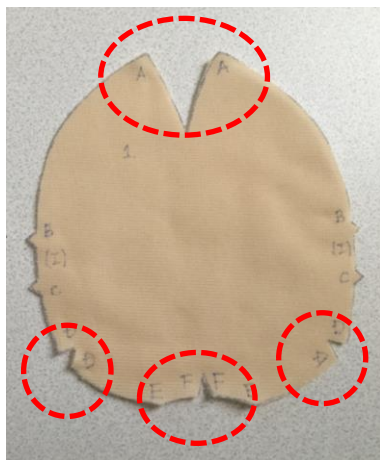
襟首と後ろ髪を中表に合わせて縫います（I～G～I）。
襟首の中心の縫い目と後ろ髪の中心の縫い目を合わせます

5. ミシン工程

【5-5】 顔



目の位置に軽く印をつけます。目打ちで型紙に穴をあけ、生地に重ねてペンで印をつけます。



顔のダーツを縫い合わせます。AとA、DとD（2か所）、FとFを中表に合わせて縫います。

5. ミシン工程

【5-6】 顔、後ろ髪まとめ

顔と前髪の合印（B～A～B）を合わせるようにのせて縫います



後ろから固定するタイプの目を使うときやまつげの刺しゅうを入れるときはこの段階で入れるとやりやすいです。

縫いるけるタイプの目を使うときや、鼻や口の刺しゅうは綿を入れてからバランスを見ながら入れるといいと思います。

5. ミシン工程

【5-7】 目①

目の位置に目打ちで少しずつ穴をあけて目を入れます。
表の目の裏側に隠れる部分から針を入れて目の後ろに少し重なるようにまつげを刺しゅうします。
ししゅう糸は3本どりで写真のまつげは2回刺して太めになるようにしています。
玉止めも表の目の裏側に隠れる位置にします。

※目の位置は、作りたい顔の表情になるように、お好みに合わせて位置を調整してください。



5. ミシン工程

【5-8】 目②

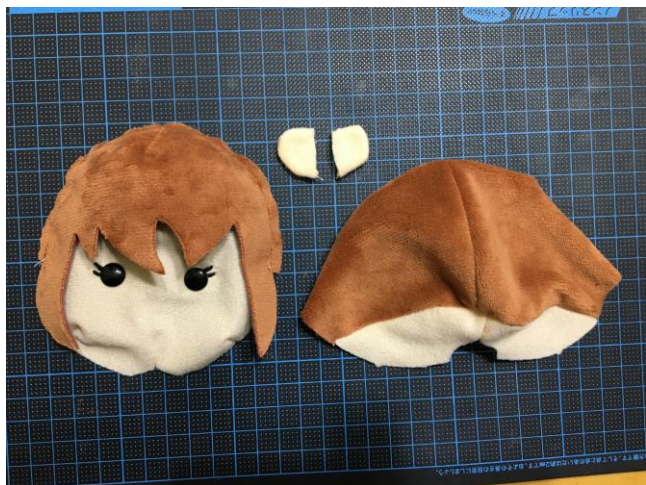
玉止めを中に入れるように後ろから留め具で固定します
面倒でも片目ずつ糸を切ったほうがきれいに仕上がります
糸を渡してしまうと綿を入れたときに目立ちます



5. ミシン工程

【5-9】 頭全体①

顔と後ろ髪を中表に合わせ B～C の合印の位置に両耳を挟みます。
耳を待ち針やクリップで留めたりずれそうなら仮縫いします。
耳前の前髪を巻き込まないようにクリップで留めてもいいと思います。



5. ミシン工程

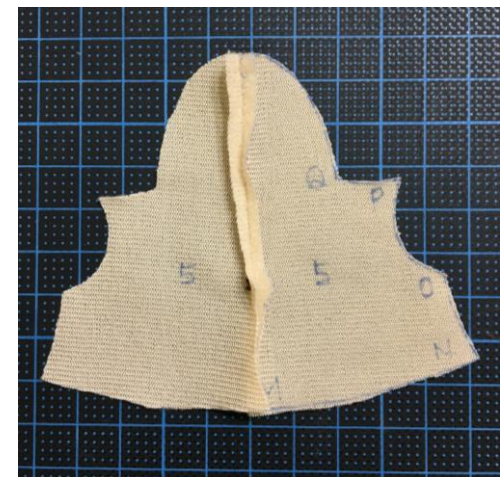
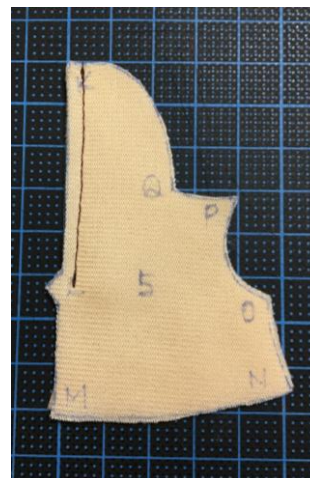
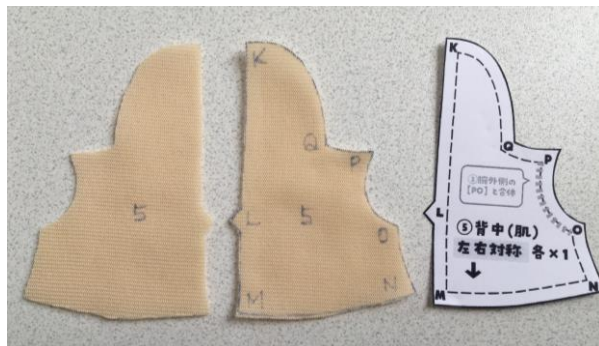
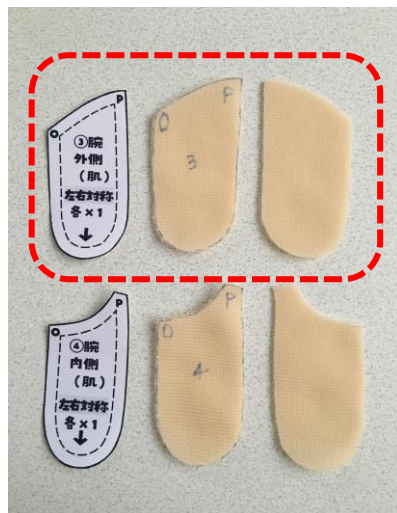
【5-10】 頭全体②

上記の周りを襟首の返し口を残して縫います（E～D～I～A～I～D～E）。 返し口から表に返します。

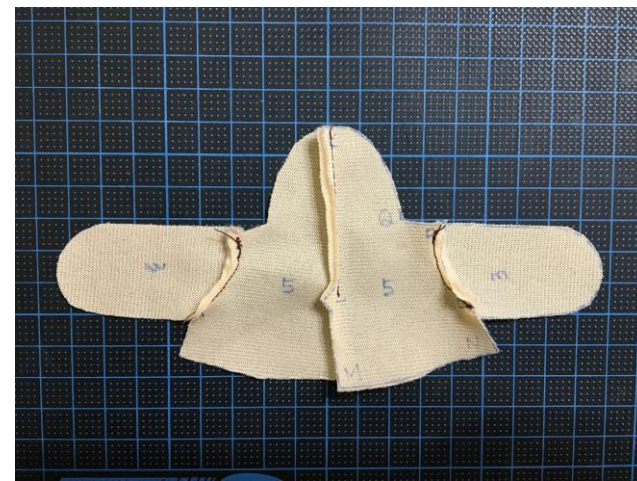


5. ミシン工程

【5-11】 後ろ半身（背中）



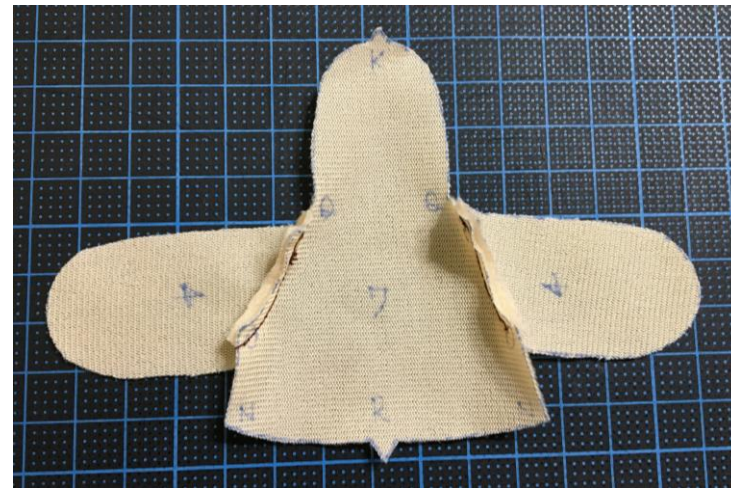
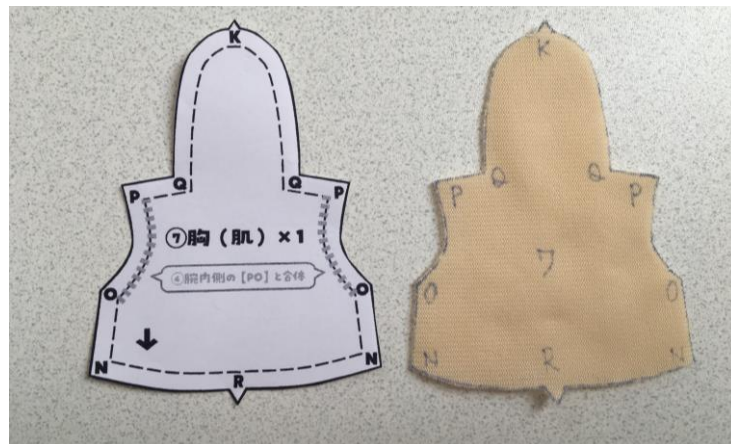
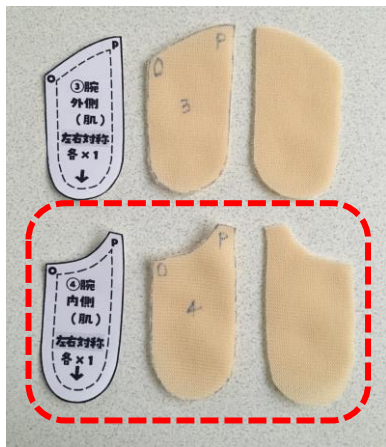
型紙5 背中を中表に合わせ中心部分（K～L）をに合わせます。
L～Mは返し口として残します。



型紙3 腕外側を中表に重ねP～Oを縫い合わせます。待ち針などで留めにくければ仮縫いをするといゐです。

5. ミシン工程

【5-12】 前半身（胸）

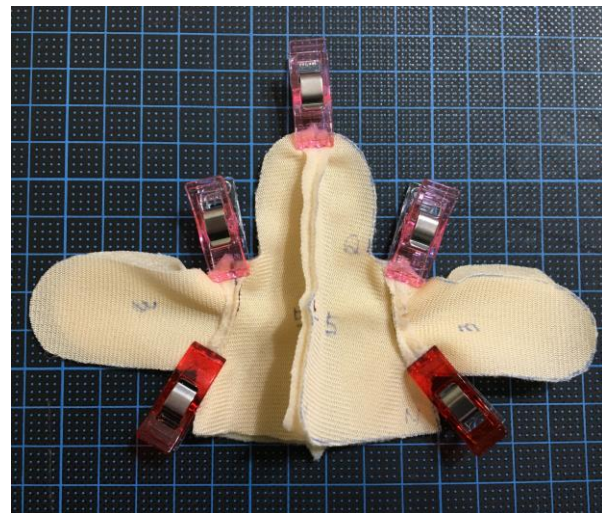
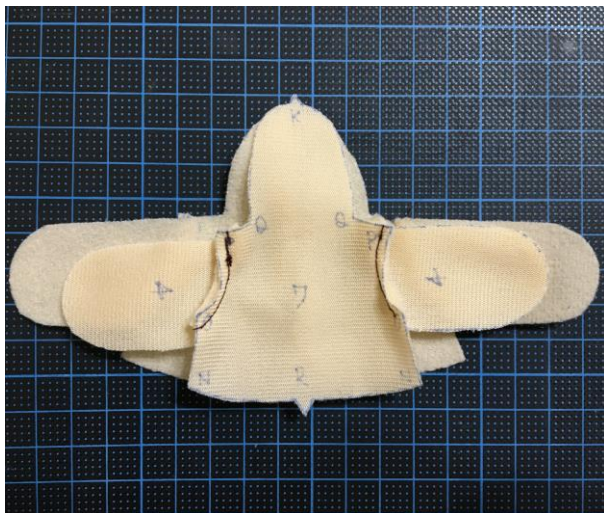
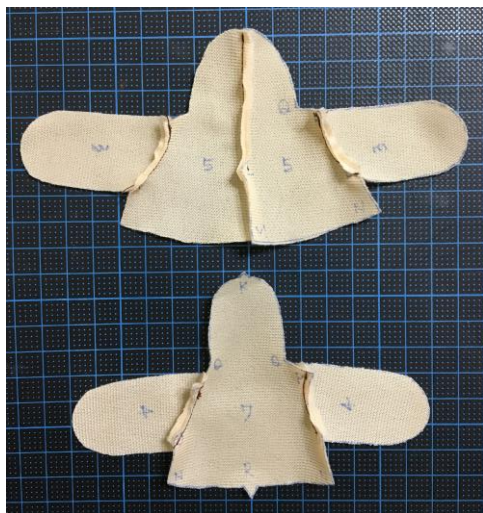


型紙 7 胸に型紙 4 腕内側を中表に重ね P ～ O を縫い合わせます。
待ち針などで留めにくければ仮縫いをするといいです。

5. ミシン工程

【5-13】 背中と胸を合わせる

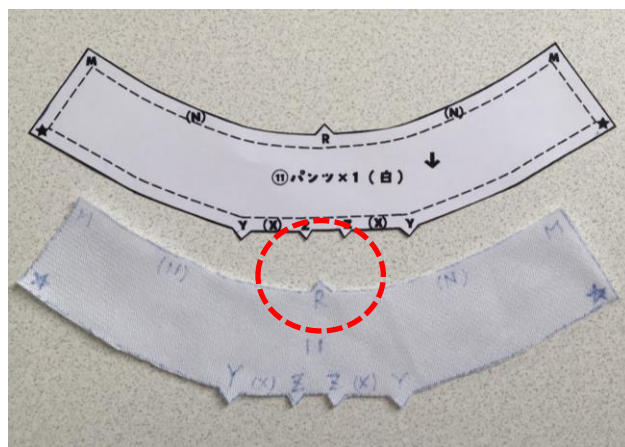
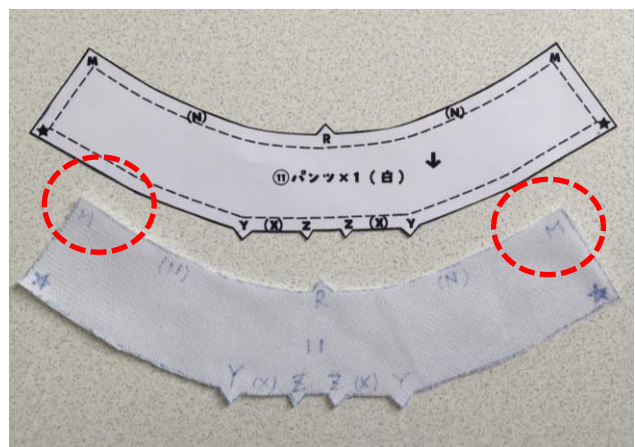
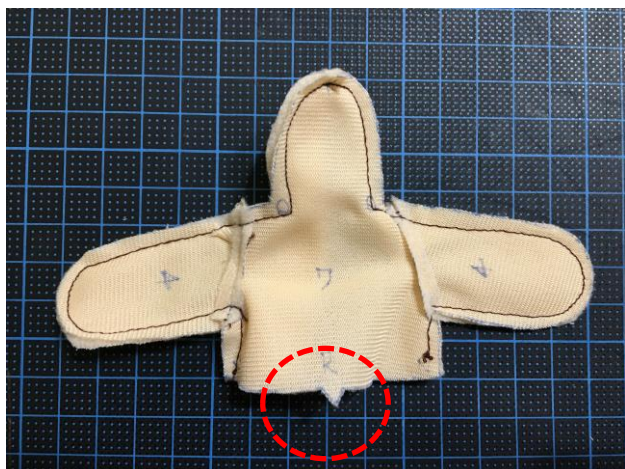
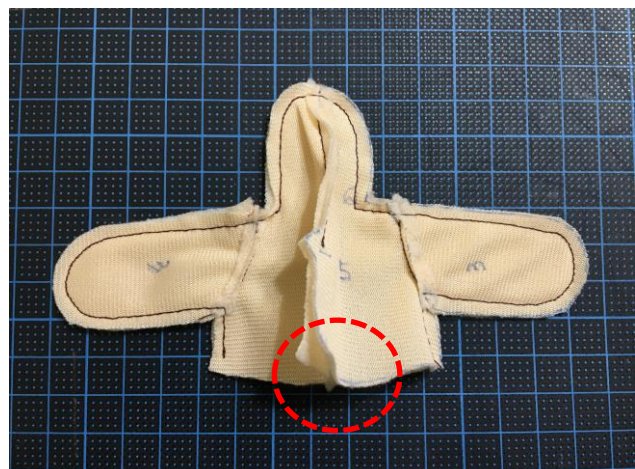
できたものを中表に合わせて周りを縫います。下部分は縫わずに残します。



5. ミシン工程

【5-14】 パンツ

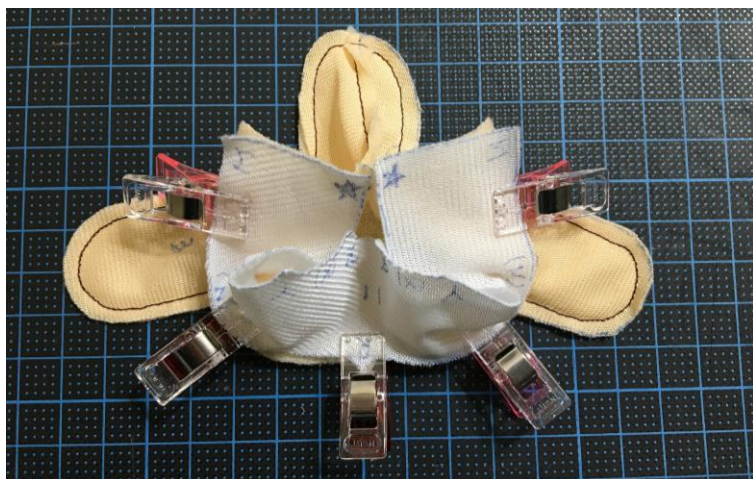
パンツと胸のRの合印どうし、パンツと背のMの合印どうしを中表に合わせて縫います。



5. ミシン工程

【5-15】 パンツと身体の縫い付け

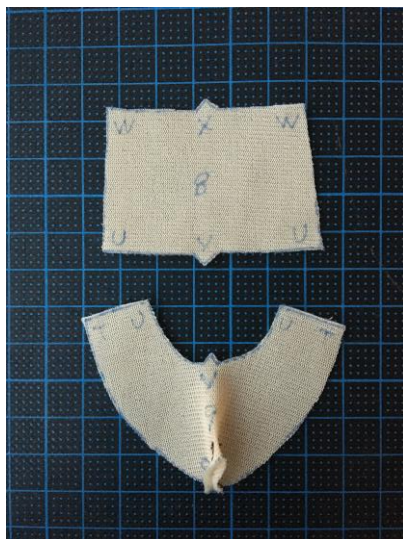
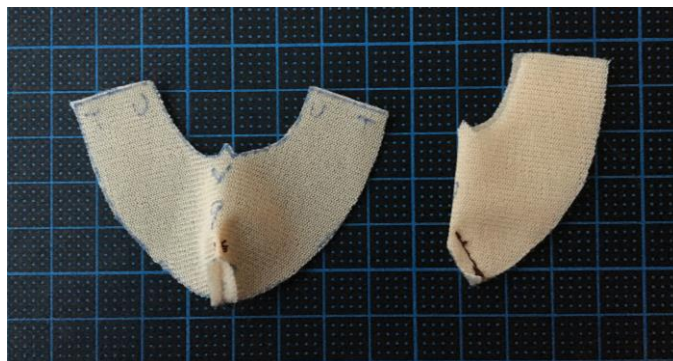
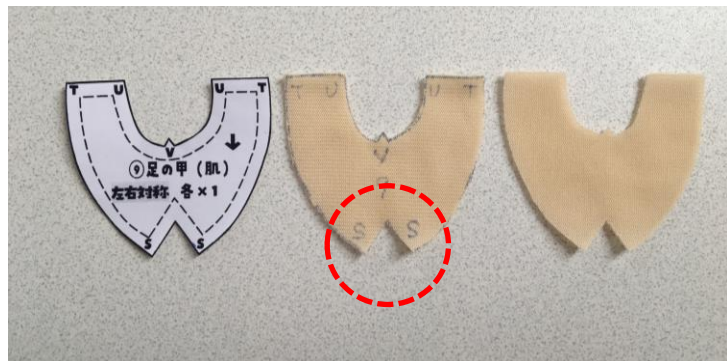
M～N～R～N～Mまで縫い合わせます。



5. ミシン工程

【5-16】 足①

型紙9足の甲のダーツ（S）を中表に合わせて縫います

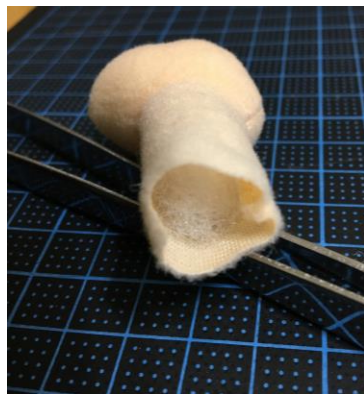
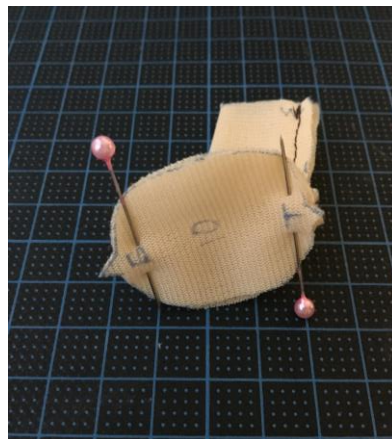


上記と型紙8の合印（U～V～U）を中表に合わせて縫います。
それを中表に半折して直線部分（U～W）を縫います。

5. ミシン工程

【5-17】 足②

足の甲と足の裏の合印（S、T）を中表に合わせて一周縫い合わせます。



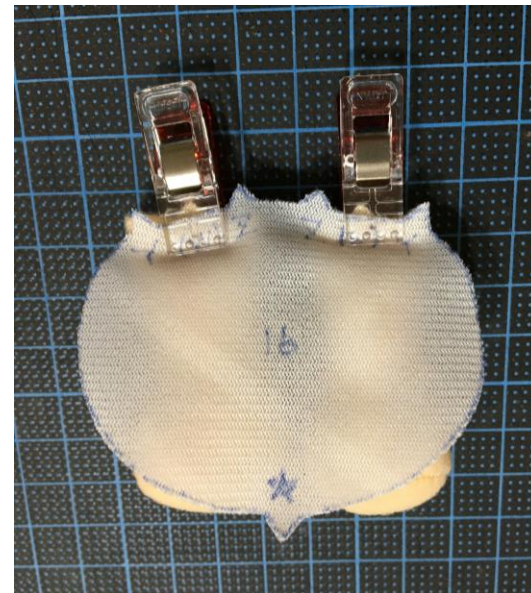
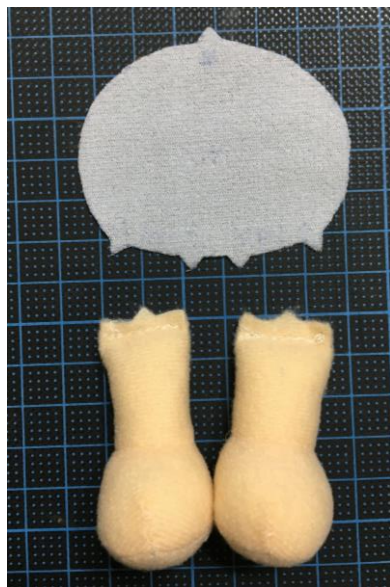
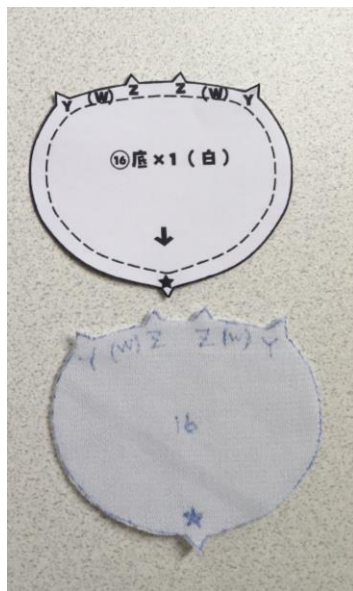
表に返して綿を詰めます。

つま先側には棒やピンセットを使ってしっかりめに、入れ口側は胴体とつなげるのでゆるめに詰めます。
入れ口を閉じます。

5. ミシン工程

【5-18】 足と胴体①

胴体に底と足を合わせる

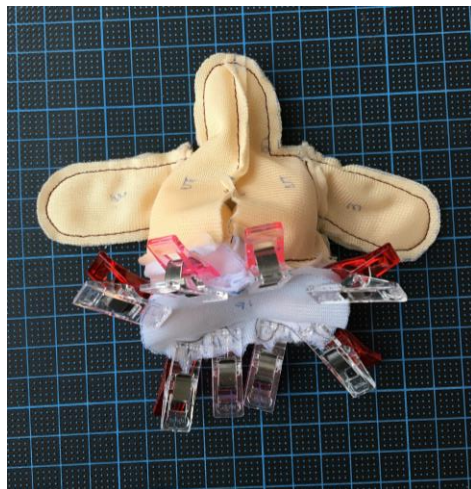
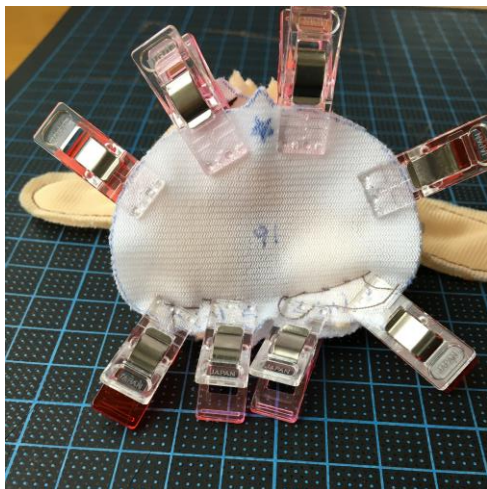


底の表面の (W) の部分に足の (W) の部分を合わせて仮止めします。
ずれやすいので待ち針などより仮縫いしたほうが良いです。

足のつま先の向きに気を付けます。
足の長さが同じになるよう気を付けます。

5. ミシン工程

【5-19】 足と胴体②

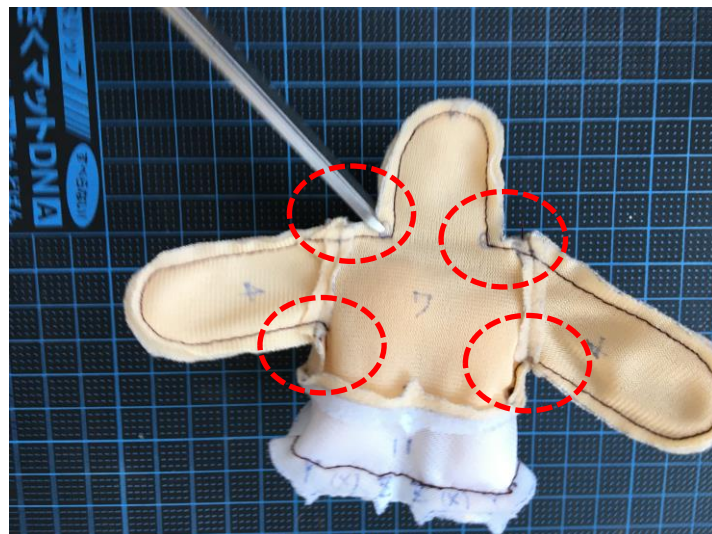
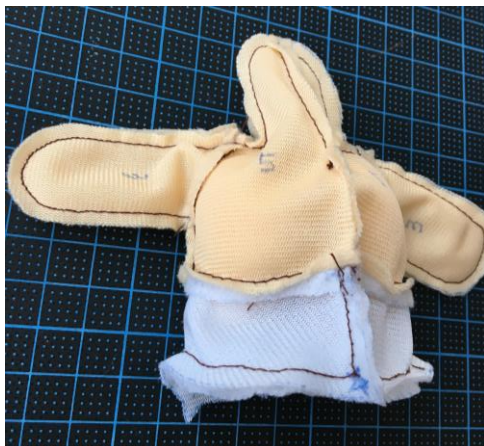


足を仮止めした底と胴体の中表に合印で重ねて一周縫います。
足が内側に挟まるようになります。
縫い進めるうちに内側が狭くなってゆくの待ち針や写真のようなクリップではれてしまうかもしれません。
仮縫いしてからミシンがけすることをお勧めします。



5. ミシン工程

【5-20】 足と胴体③



底を一周したら90度回転させて残りのパンツ部分（白のナイレックス）の直線を半分くらい縫います。
写真のように白の直線部分を全部縫ってしまうと返し口が狭くなってしまいます
背中中の返し口も縫わないで残します。首の根本、脇の部分に切り込みを入れると形がきれいにでます。

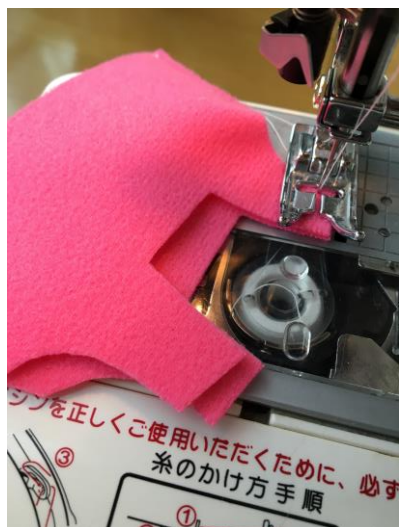
残した返し口から表に返します。



5. ミシン工程

【5-21】 服

服前と服後を重ねて両肩と両脇を縫い、表に返します。2枚圧着しているので布の裏表はありません。



6. 仕上げ工程

【6-1】 胴体



おしり部分にペレットを入れてから綿を詰めます。

胴体は足と同じように手の先や首の細い部分はピンセットなどを使ってしっかりと詰めます。
好みですが気持ち多めのほうがふっくらとしてかわいい仕上がりになると思います。

返し口を閉じます。



6. 仕上げ工程

【6-2】 顔

返し口から綿を詰めます。

綿が少ないとダーツの部分にへこみができるので注意。



首を差し込むスペースをあけておきます。

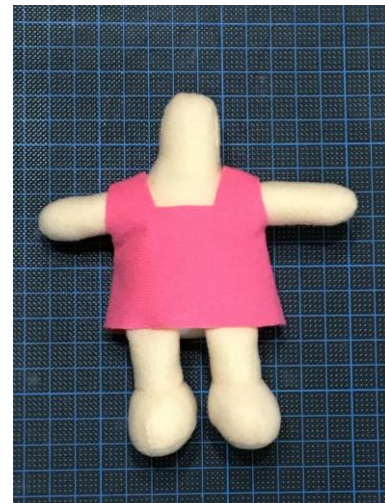
6. 仕上げ工程

【6-3】顔と胴体の完成

顔に刺しゅうをします。

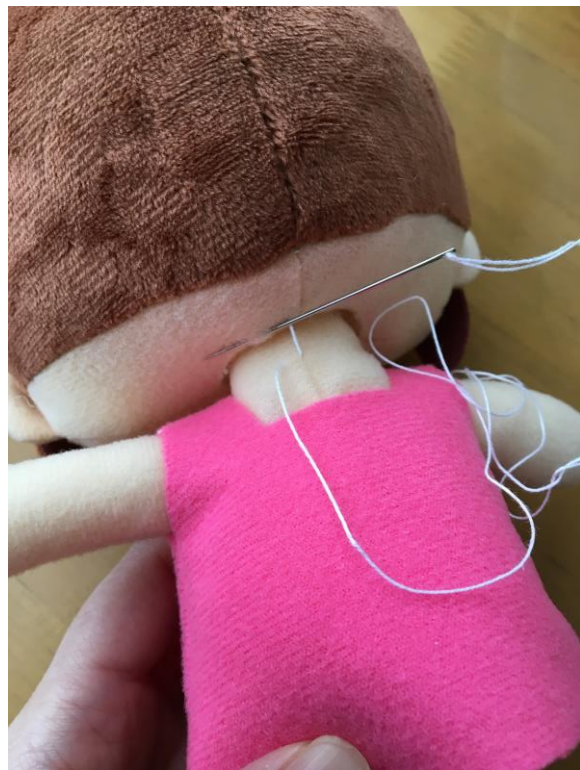
フリクションペンで目印を付けて刺しゅう後にドライヤーをあてると良いです。

胴体には服を着せます。



6. 仕上げ工程

【6-4】型紙桜子完成



首を差し込んでコの字とじで固定して完成です。